

経営比較分析表（令和元年度決算）

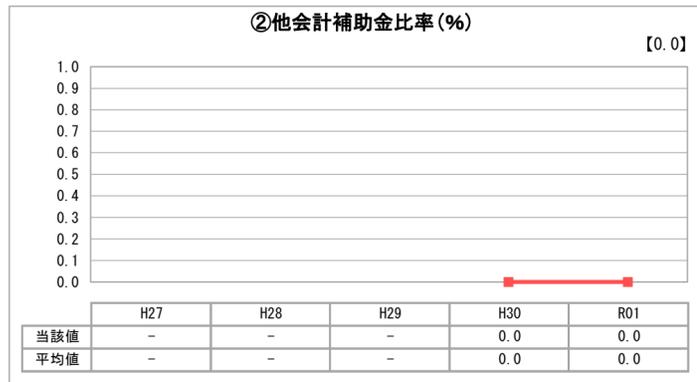
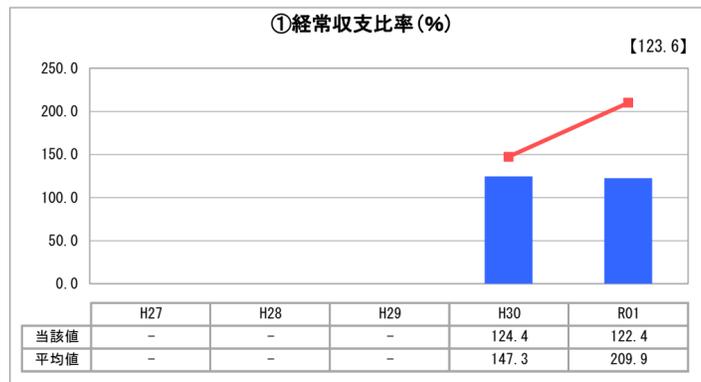
兵庫県洲本市 洲本インターチェンジ駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法適用	駐車場整備事業	-	A3B2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
99.5	届出駐車場 其他駐車場	広場式	9	

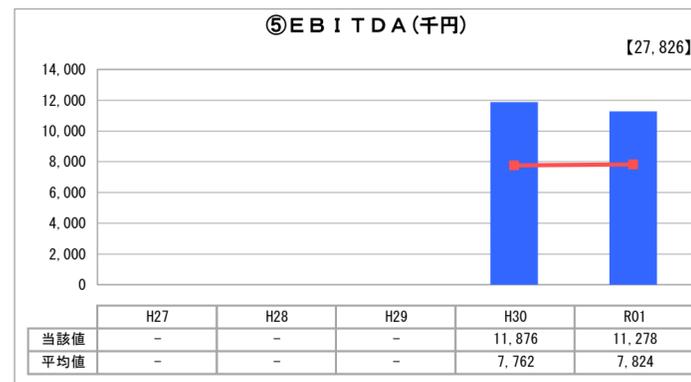
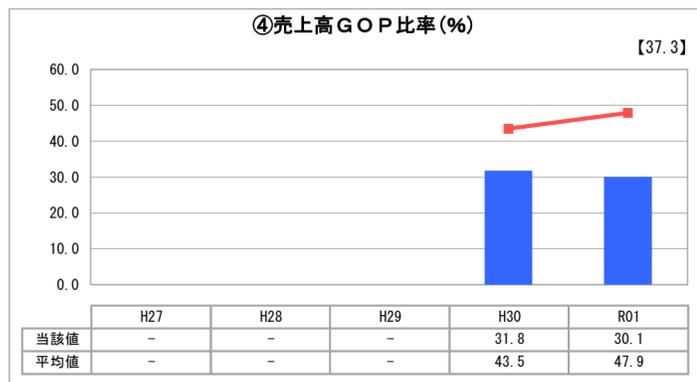
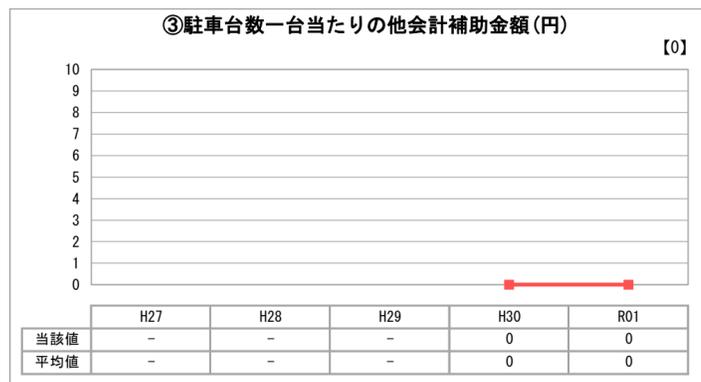
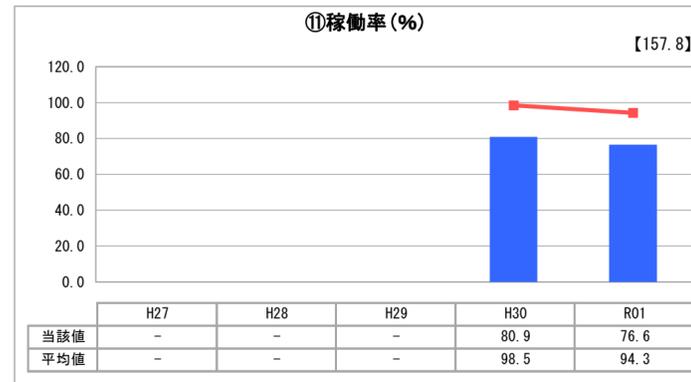
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
無	無	2,624
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
209	300	導入なし

グラフ凡例	
■	当該施設値（当該値）
—	類似施設平均値（平均値）
[]	令和元年度全国平均

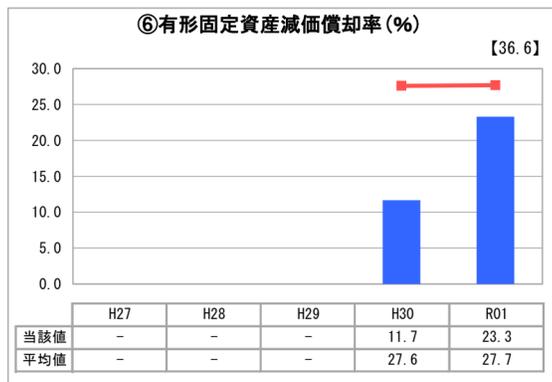
1. 収益等の状況



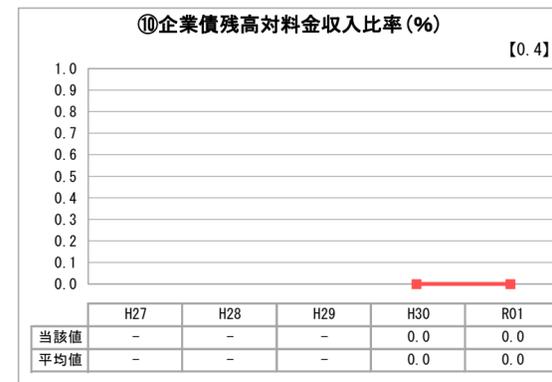
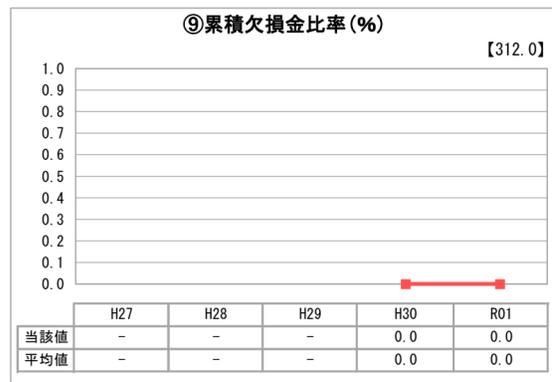
3. 利用の状況



2. 資産等の状況



⑦ 敷地の地価(千円)	11
⑧ 設備投資見込額(千円)	1,000



分析欄

1. 収益等の状況について
 経常収支比率は120%を超えており、他会計補助金を受けることなく安定した運営ができています。

2. 資産等の状況について
 本駐車場は利用者用トイレ、舗装設備、精算機等を保有しています。有形固定資産減価償却率は20%程度ですが、一部資産の老朽化比率は100%となっており、長寿命化に向けた改修や更新等が必要な状態です。

3. 利用の状況について
 洲本インターチェンジ高速バス停留所に隣接しているため、主にバス搭乗者が利用する駐車場です。稼働率は前年度よりわずかに減少していますが、バス搭乗者数の増減に強く依存するため単独で利用者の増加を画策することは困難と考えます。

全体総括
 本駐車場は主として高速バス搭乗者用の駐車場であり、重要な役割を果たしています。現在のところは安定した運営ができています。ただし、管理経費については敷地面積も広く、また警備員詰所から遠いため、他の2駐車場に比べて割高になっています。今後は、業務の効率化を検討し、引き続き健全な経営に努めます。